

ピユッコの夫人 フレーベル追懷録

S K 生譯

七、グスタフ、キューネ博士の來訪（つゞき）

丁度この時戸外を通つてゐた百姓達の粗暴な叫聲が門の外に聞えました、フレーベルは前に話をした紳士の方に面を向け笑みを含みながら言ひました、「あの聲を何うお考へになりますか、此所の兒童の方がもつとよく歌ふとお思ひになりませんか、唱歌は愉快な音を持つために學ばなければなりません、歌を上手に唱ふ人に粗暴な人は滅多にありません。」

「兒童の唱歌は大層結構です」と其處にゐた夫人達の或る方が言ひました、「遊戯は見てゐる内に涙を誘はれる位に心を動しました。這麼風に兒童が遊ぶところを見た人は誰でも兒童が束縛され自由を奪はれてゐると思ふことは出来ません、私は今

まで是程技巧を弄さなくて愉快なもの、少しも束縛されてゐないものを見たことがありません。」

フレーベルは言ひました、「さうです。幼稚園は兒童の自由共和國です、而して發達が不十分なために要求せらるゝ徳性を害ふやうなすべての事柄は此國から除去されるのであります。兒童は注意され保護されなければなりません、何故ならば兒童は自分で自分を保護することが出来ないからであります、而して年が尠ければ尠い程身心共に片輪とならないためには兒童は指導を必要とします。」

兒童は遊戯を終りおしまひの歌を唱ひました、而して一緒に遊んでゐた若い女の人達に連れられ

て入口の方へ行きました。

フレーベルは一同を促して彼の起臥して居る二階へと案内しました、彼は部屋々々の真中に位して居る大きな廊下を横切りました、この廊下にある四つの窓から私達は遙か彼方に聳ゆるローンの青き山々を見はるかす美しい眺望に瞳を放ちました。

廊下の中程にフレーベルの遊戯の恩物と各地の幼稚園から送られた兒童の小製作品の載つてゐる長いテーブルがありました。

兒童の遊戯に異議を懐いてゐた而して又私の言に幾度となく反對した紳士(伯林の樞密顧問官)は遊戯及び作業によつて數學的觀念を養はんとするフレーベルの方法仕方(これに就ては今まで澤山語られました)を學びたいといふ希望を現しました。

フレーベルが小さな木片で種々な形を拵へて具體的の線によつて種々の面及び角によつて圍まれ

た面積を説明したり又特に幾何學的圖形の大きさと數との關係又更に數の簡單な代表物を單位から説いて行き而して形及び數の代表物を他の材料と一緒に示した時にこの今まで甚だ冷淡で隔意のあつた紳士は非常に熱心になつて來ました。

小さい木片で作られた形はたゞ置き並べられてあるだけで結び付けられては居りません、けれども幅の廣い折板は十文字に結ばれ織り合されてあるので形を崩れるやうなことはありませんでした四角に疊んで切られた紙は面の關係と幾何學的圖形とを示しました。數學的關係の知覺は實際の事實として説明を要しません。兒童は種々な材料を取扱ふことにより又容易に理解される指示により抽象を用ゐずに大きさと數との關係を簡簡な事實として理解します、それで彼等がまだ幼いので觀察を基として推理するものではありません、たゞその關係から持ち來された形を觀察することのみによつて理解するのであります。

顧問官は是等の實物説明は簡單で非常に明瞭であると思ひました。たゞ彼は斯ういふことに幾分か疑ひを存して居りました、それはこの抽象を具體化したものがその後純然たる智的性質を有し、人の心に於てのみその類似が見出される數學的概念に達するか何うかといふことであります。

私は押し切つて次のやうな質問をしました、「けれどもすべて抽象といふものは實際的形而下的の或物から引出されるものではありませんか、而してこの物質界全體は數學的關係の上に立つてゐるのではありませんか——本當にあらゆる物は大きと數との關係を現して居るではありませんか」例へば私のやうに數學の智識に乏しいものですと若し私が可見的代表物によつて數學的眞理を認めることが出來なかつたならば數學的眞理を認めるといふことは私に取つて全く不可能なことでありませう、それですから若し是等の眞理が言葉によつて教へられたり考へられたりする場合にはこれを充

分に説明しやうとならば先づ形而下的關係を知つて置くといふことが必要であります。フレーベルの方法によりますと兒童は熟練の足りない工匠のやうに經驗によつて己を教ふる進歩的の實驗を行います、斯くして經驗を重ねて行く中に人は獨創的に智識に到達します、數學的智識はこのことに例外であり得るでせうか。數學は人の心に現されても形而下的世界に現されても常に同じであります、而してそれ故に兩者の推理はたゞ一つの源泉——神の心を持つて居ります」

顧問官は微笑を湛へながら言ひました、「それに就ては澤山話さるべきことがあります、けれども私達は智的のものゝ形而下的のものを餘りごつちやにして丁つてはいけません」

「二元論的世界觀かね」と私の側にゐた人か囁きました。向側に腰掛けてゐた若い畫家がフレーベルの方を向いて些か急ぎ込んで少年時代に美しきものを思索することは美的ならざる數學的の形を

用ゐる作業よりも想像作用の喚起にはもつと有効ではありますまいかと尋ねました。

フレーベルは答へました、「御尤なお話です、美しきものは人間種族の教育に最善の手段である如く少年の教育にも一番いい手段であります」彼は細長い紙を展げました、この紙には極めて簡単な釣合のよい圖形のあつまり、兒童が喜んで描いた形の模寫がフレーベルの八個の立方體と共に石版刷になつて居りました。「是等の圖形は規則的であるにも拘らず美しき形と名けられて居ります、私が智的の形と名ける所の數學的の形は美しい形の依つて起り來る骨格を與へるだけであります。古代埃及の建築物にある圖形を御覽なさい、それは必ず數學的關係を示す所の直線であります、後に至り藝術の進歩した時に現れる曲線を持たなくとも尙形の美といふことはあつたのであります。私は私の教育法にこの同じ順序を取ります。

是等の簡單な形を形作つてゐる諸部分の均整は

兒童の眼に調和の美の印象を與へます、それはそれが或る状態に於て美を美の完き意味に於て理解せんとする前に美の要素を持たなければなりません。簡單なもののみが最初兒童を喜ばせます、兒童は形を拵へやうとする時少數の材料を取扱ふことが出来るだけであります、それですから私はこの目的のためにたゞ八個の立方體を與へます、けれども形を作る材料は自然の命するまゝに法則に従つて進み漸々と増加して行きます、八重の薔薇が注意深き栽培によつて作られる前には一重の野薔薇が存在してゐたのであります、兒童は屢々形を作るといふことが出来なくなる位に澤山な又種々な材料で壓倒されることがあります、して私達は自然以外に何處からその規則を求め得ませう、私達は神様のお作りなされたものを真似ることが出来るばかりです、それですから私達は神様のお作りなされた所に従つてこの法則を使用しなければなりません。

「この法則を以て私は兒童に細工物の指圖を與へます、それは彼等が（神によつて造られたものであるか故に）依つて以て造られた法則である故に彼等は容易く之を適用することが出來ます、彼等は産れながらにしてそれを持つて居ります、而して又それが獸的本能を誘うて活動せしめるのであります。

彼は瞳を輝して一同を眺めながら尙語りつゞけました、「それで今や人々が自己の存在を自覺し彼等を支配する法則、彼等が依つて以て活動する法則を自覺する時が來ました、それですから極く幼い兒童はこの法則によつて先づ第一に遊戲の活動に導かれなければなりません、法則の自覺は活動と法則の適用とによつてのみ準備せられます、無自覺は主として活動によつて自覺にまで引き上げられます。

フレーベルはこの言を或る例によつて説明しました、而して彼が「反對の連結」と名付けてゐるこ

との法則が如何にして兒童の遊戲に適用されるかを示しました、けれども彼は其處に出席してゐた人の大部分に分らせることが出來ませんでした。

新しい説といふものはその説が出て來たところの概括的の理論が普及された後にたい漸を追うてのみ擴められるものです、フレーベルの理論は深き直覺の上に築かれて居ります、それはその法則が、否寧ろその法則の適用が（法則の認識といふことは一般に哲學的思索と同じやうに古いものでありますから）科學的に確立されるまでは而してそれが實驗的調査法によつて確立されるまでは一個の假説として認めらるゝのでありませう。

キューネ博士がフレーベルに彼の方法による語學的教授法を訊すとフレーベルは文字の起源、觀念と關係しての文字の意義などといふことを説明し始めました、このことは現在に於て教育的價值を持つにはあまり科學的に過ぎた探究でありました、けれども人間性のあらゆる方面の發端として

興味あるものであります。

這麼風に話の本筋を逸して了つて聴者におかまひなしで自分の思想を追つて行くために（尤も彼は新しい話題に入つて行くのではあります）フレーベルはよく彼の話をこんからかして了ひます而して彼の話は分らないなどと評し去られて了ふのであります。

キューネ博士はそれで次のやうなことを言ひました、「フレーベルは私に入浴中に自然律を發見して身體から水を垂らしながら街中を「あゝ分つた、分つたぞ」と叫びながら駈け歩いたといふ古の賢者のことを思ひ出させます」

這麼風に脇道へ外れて行くことがあるにも拘らずフレーベルの話は感受性に富んだ人々からは常に温い推賞を引き出しました、眞理を本當に深く確信して居るものゝみが斯ることを爲し得るのであります。

男子達が論じ始めたこちたき文字の起源論に退

屈した二三の婦人客は幼稚園の種々な製作品を觀察して居りました、而して幼い兒童に斯る製作が出来やうかと信じかねて居りました。

婦人の一人が言ひました、「それは皆甚だ結構です、けれども私にはこの努力は兒童の少い年につてはあまり荷が勝ちすぎるやうに思はれます、兒童は極く幼い頃は自分で出来る而して又したいと思ふことを妨げられずに遊ぶのがいゝやうに私には思はれます」

私は答へました、「御尤です、けれども若し兒童が遊戲に於て満足を求めるならば自然の目的が達せられなければならない、而してこの目的は生理及び精神的の發達であります、遊戲——兒童の最初の活動——は今では機會に任されて居ます、それ故それは不完全にのみその目的に達し得るのであります、それは指示を要します、而してすべて心得のある母親や教師は兒童が望むまゝに（又斯る場合は多いのであります）この指示を容易

く與へます、同年輩の遊び友達のない兒童は「一緒に遊んで頂戴」といひます。兒童は自分一人で遊んだり人形をおもちやにしたり自分の想像で拵へ上げたものに向つて片言を云つたりして遊んで居るのはホンの僅かの間です、直きに飽きてしまひ大人——疑問の生きた註釋者（大人は兒童の心の發達のためにこの註釋者とならねばなりません）——に向つてしつこい質問を始めます、これらの疑問が要求に當嵌るやうに答へられた時でさへも（これはよく他のことで忙しい母親や乳母の爲すところですが）それはたゞ言葉でだけ爲されるのです、それで兒童が充分に理解することは滅多にありません、言葉の言ひ現す事柄——即ち物質とその屬性を知ることが第一に必要であります、フレーベルの恩物と作業とは丁度この智識を提供するものであります。

この目的のために準備せられた材料は物質的事物の實驗を行ふ機會を供給します、而してそれが

兒童がその發達しない衝動の盲目的摸索によつて求めて居るものであります、僅かな力の努力は必要の材料を與へることにより而してその正しい使用法を彼に示すことによつて増加して行きます、否寧ろ彼の努力はそれによつて容易に行はれるやうにされるのではありますまいか。

「例へば兒童が紙を切つて形——箱、小さい鳥などといふやうなものを拵へやうとします、兒童は紙を適當に切らないために又必要な取扱方を知らないために旨く行きませんが、幼稚園では兒童は方形の紙を與へられます、而してその紙から望みのものを如何にして作り出すべきかを示されます、その他兒童はフレーベルの作り方の規則を適用することによつて種々な新しい形を如何に工夫して作り出すべきかといふことを容易く教へられます、斯くして最も簡單なものから一步々非常に複雑なものに進んで行つて作られた形は私達がそれが最初からお互ひに如何に進んで行つたかといふこ

とを知らないときは六ヶ敷くも見え兒童の力には及びがないやうにも見えるのであります」

私は婦人達にフレールの切り方の作業を行つてみせました、一定の方法に依つて疊んだ紙を二、三度方形に切つて非常に變化に富んだ形を拵へました、而して一同の驚異を呼びました。

「これはまア、本當に美事です」と反對論を唱へた婦人が言ひました、「それですつかり分りました私は私の前言を引込ませませす」

私は言ひました、「兒童は斯うして遊戯によつて最も重要な機械的手法を覺えるのです、而してその形と美とに關する感覺が養はれて行きます、大切なことは物事を續け行ふやうに兒童が馴らされることです、それから又兒童に本當のよろこびを與へる作り方の作業によつて兒童が早くから有益な小さい仕事を行ふことが出来るやうになり後の仕事のために準備をすることであり、徳育の効果が斯くして充分に擧げられます、現代に於て

このことが如何に必要でありませうぞ。

「人類の文化が數千年の間に漸々に發見したものが實驗によつて練習し來つたものゝすべてはフレールによつて彼の法則の原理の中に認められて居ります、而してそれに關連して得られた特殊な熟練を彼は兒童に適當な仕事の普遍的要素となすために最も單純な手法に還元して了ひました。

「けれども是等の作業は、一體何事でもさうであります、聰明でない保姆が長く兒童に係かゝつてゐる場合又は兒童にあまり六ヶ敷いことをさせたりする場合には誤り用ゐらるゝ虞があります」

「驚くべき發見」

「實際だ、現代に於て實に意義の深いことだ」

「あんな平凡な人目に立たぬ人にあれほどの天才を誰が期待し得るだらう」

「あの人の態度舉動はまるで子供のやうだ」

「人類の幸福のために兒童に彼の全生涯を捧げるとは」



斯る言葉はフレーベル及び彼の教育法に關してマリエンタルからリーベンスタインに歸る半時間の歩行に於て、一行の人々によつて發せられた思ひ思ひの感嘆の叫びであつたのであります。

一行は皆この訪問及びフレーベルの教育法に非常に満足を表して居りました。

伯林の顧問官さへも「フレーベルの方法、殊にその數學に關するものが行はれるやうになると學校教育に重大な改革が起つて來るであらう」と考へました。

キューネ博士は言ひました、「フレーベルの方法は實に重要で、而してベスタロツチの方法を補ふものであります、このフレーベルといふ人は實に例外的な珍しい人です、單純な飾氣のない態度には非常に詩的な氣高さがあります、而して普遍的な大慈悲心の籠つた仕事が成功されるためには彼のやうに自己犠牲に喜びを感ずることが必要であります」

「どうですこの問題のためにあなたのペンをお振ひ下さいませんか」と私は尋ねました。

キューネ博士は「何等かの方法でこの問題をも

つと進ませるやうに取計らひませう」と言ひました、而して博士はその約を履まれました、といふのはすぐ翌月の「オイローバ」で「チューリンゲン紀行」を執筆されたのであります、それには詩歌を交へてマリエンタルを訪うたことが面白く綴られてありました、それからその後「フレーベルと彼の努力」といふ評傳風のものを書かれました、この全文は「獨逸の男と女」と題した單行本に再び掲げられました、それから又フレーベルの死後「フレーベルの死と彼の教育法の成功といふパンフレットが現れました、この最後の大きな感謝に關してはキューネ博士に負ふ所が多いのであります、何故ならば博士はフレーベルの主張に耳を傾けた最初の非學者的の著作家であつたからであります、それから博士は又ペンを執つて若し博士が爾爲さなかつたならばフレーベルを知る由のなかつた人人にフレーベルを紹介しました。

この時散歩を共にした博士以外の人々によつて熱心に表された認識がその後彼の主張に幾分たりとも實際的の支持を齎したか何うかといふことに就ては私には知られて居りません。